



# 東っこ通信

## 2018

みやき町立三根東小学校  
学校だより No.8  
平成30年7月19日(木)  
校長 築波 真史

学校教育目標

＜豊かな心をもち、自ら学び、進んで行動する児童の育成＞

～夢にチャレンジ東っ子～

## 大雨から梅雨明け、そして猛暑の学期末です

前回この東っこ通信 No.7 を配布したのは、ちょうど大雨洪水警報が出され、1・2年生の下校時刻を高学年と一緒にして下校させた7月6日(金)のことでした。子どもたちが下校を完了した後の17:10ごろ、佐賀県に大雨特別警報が出され、特に川沿いの地域では不安な夜を過ごされたことでしょう。折しも1年前は福岡県朝倉に大きな被害をもたらした梅雨末期の大雨です。佐賀県内でも亡くなった方がいらっしやったのですが、広島県、岡山県、愛媛県など広範囲にわたって大きな被害が出て、テレビのニュースでも繰り返し流される映像を通して、自然の力の巨大さに比べ、我々人間がいかにも無力であるかを思い知らされました。亡くなられた方、未だに所在がわからなくなっている方の数も西日本だけで200名を超え、毎日のニュースで流れる映像は子どもたちにも衝撃を与えたものではなかったかと思います。また、大雨が降った時間がもう少し長ければ、みやき町でも大きな被害が出た可能性もあります。学校としましても、改めて災害への備えなどの危機管理をしっかりと考え、全職員、意識を高く持ちたいと思います。

右の写真は七夕に子ども達が各学年でつくった笹飾りです。私もできあがった各学年の笹飾りを観ながら、短冊を読ませてもらいました。「さか上がりできますように」「プールで上手に泳げますように」「ショコラティエになりたい」「消防士になりたい」など、自分ががんばっていることや将来の夢についてのものが多かったのですが、それと同じくらい「家族のみんなが健康でいられますように」「妹が病気にならないですくすく育ちますように」など、家族の健康・安全を願うものも多かったようです。また、高学年では「これ以上土しや災害で行方不明の人が出ませんように」「動植物の密りようや乱かくがへりますように」など、社会の問題をしっかりと見つめる意識をしっかりと持っているものも多くあり、頼もしく思いました。

さて、先週、梅雨明けしてからは気温もぐんぐん上がり、最高気温が34℃～36℃という、一気に真夏が来たような陽気が続いています。明日は終業式です。子どもたちは朝から汗をにじませながら元気に登校できています。熱中症への備えについても、水分補給や体調管理など、夏季休業中の子どもたちの健康管理についてよろしくお願いいたします。



## 高学年は着衣水泳の講習会に参加しました

7月11日(水)に、5・6年生を対象に着衣水泳の講習会を行いました。着衣水泳とはその名の通り、服を着たまま水泳をすることで、水の事故から命を守るために毎年行っているものです。鳥栖・三養基地区の消防事務組合、西消防署から水難救助の専門家2名をお招きして、まずは体育館で着衣水泳を行うときの心構えや基本的な浮き方などを説明してもらい、その後、実際に水着の上から服を着て入り、普段水着で泳ぐときとの違いや、助かるためのポイントなどを教えていただきました。私も指導し



ていただく様子を見ておりましたが、特に以下の点は「なるほど」と思いましたので、保護者の皆様も子どもさんと話し合ってみてください。

- 服を着ているときは、服の中の空気が浮く力になるので着ている服は脱がないこと。
- 水に落ちても暴れたり大声で叫んだりせず、まずは自力で浮くことを考えること。体力を使うとそれだけ早く沈んでしまう。
- 落ちたところに流れがある場合は、流れに逆らおうとせず、浮いたまま流れに身を任せること。体力を使ってしまうと、流れに任せていけば必ずゆるやかになったり、岸に近づいたりするので、それを待つこと。

いずれも、とっさの時に冷静に対応できるか難しいかもしれませんが、繰り返し話を聞いたり練習したりすることによって、いざという時に自分や友達の命を助けることにつながると思います。

## 水泳大会、猛暑の中たくさんの参観ありがとうございました

7月13日(金)は7月の授業参観日を設定し、各学年の水泳大会を行いました。水に入る子どもたちは気持ち良さそうでしたが、プールサイドで参観していただいた、たくさんの保護者の皆様は午前中とは言え気温はおそらく33℃ほどもあったと思われます。本当に厳しい暑さの中、ありがとうございました。

5月末のプール開きから約1ヶ月半、決して十分な練習時間ではありませんが、子どもたちの上達ぶりは目を見張るものがあり、1年生はすっかり水に慣れて怖がる様子もほとんどなく、なかにはクロールで10m以上泳げる子もいてびっくりしました。また5・6年生では平泳ぎなどクロール以外の泳法でも軽々と50mを泳げる子がたくさんいて頼もしく思いました。

今週も授業が行われておりますし、夏休みもお盆まではプールを開放いたします。これまで以上に水に親しみ、どの子にもいざという時に自分の命を守れるようになってほしいと願っています。



## 救命救急法の講習会にもご参加ありがとうございました

また、同じ7月13日(金)の3校時には、鳥栖・三養基地区消防事務組合の西消防署から保護者や地域の皆様向けの救急救命法の講習会を行い、保護者・地域の皆様合わせて22名ほどが参加していただきました。ありがとうございました。

時間の都合で基本的な心臓マッサージ法の練習とAEDの使い方を教えていただけただけでしたが、我々教職員も含めて、いざというときに役立つ知識や技術となるためには、繰り返しこのような研修会に参加することが大切だと考えます。なお、学校のAEDは玄関においております。休日などは石で玄関のガラスを割ってかまいませんので、いざというときに躊躇なく使える心構えも大切です。



## 地区懇談会へのご参加ありがとうございました

7月12日(木)の地区懇談会はお忙しい中、ご参加ありがとうございました。また、急な日程変更でご迷惑をおかけしました。特に地区役員の皆様には公民館の予約や地域の皆さまへの連絡など、大変であったと思います。私も西分の地区懇談会に出席しましたが、保護者の皆様だけでなく、地域の区長様、サポート隊の方、民生委員・児童委員の方なども参加していただいております。ありがたく思います。夏季休業中の子ども達の生活について、我々小学校や中学校の職員と保護者や地域の皆様と一緒に確認する機会は大変貴重であると考えます。「地域で育つ子ども」として、子どもたちが楽しく、安全・安心な夏休みを過ごすことができますよう、学校から配布する「夏休みのくらし」によく目を通していただき、ご指導をよろしくお願いたします。